



● 大学入学共通テストが行われました

1月14日(土)と15日(日)に大学入学共通テストが行われました。3年生で受験した人はお疲れ様でした。2年生は受験まで1年を切りました。「3年0学期」という言葉もありますが、自分の進路に臨むためにはどのような「力」をつける必要があるのでしょうか?1年生も一緒に、今年の結果とともに確認してみましょう。

● 大学入学共通テスト実施状況比較

科目	年度	配点	全国平均	利根商平均	平均割合
国語	2023	200	105.7	58	55%
	2022	200	112.5	78.6	70%
数学Ⅰ	2023	100	37.8	28.5	75%
	2022	100	24.3	13	53%
数学ⅠA	2023	100	55.7	27.3	49%
	2022	100	39.7	22.8	57%
数学ⅡB	2023	100	61.5		
	2022	100	44.2	30.5	69%
リーディング	2023	100	53.8	30	56%
	2022	100	63.4	43.9	69%
リスニング	2023	100	62.4	33.3	53%
	2022	100	60.8	47.2	78%
地理B	2023	100	60.5	29	48%
	2022	100	59.8	52.8	88%
現代社会	2023	100	59.5	57	96%
	2022	100			
政治・経済	2023	100	51.0	28	55%
	2022	100			
化学基礎	2023	50	29.4	18.1	62%
	2022	50	28.2	30	106%
生物基礎	2023	50	24.7	11.1	45%
	2022	50	24.5	22.2	91%

● 共通テストで求められる「力」とは?

今年度の共通テスト問題作成方針にある「問題作成の基本的な考え方」には、「高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的としている」と書いてあります。また「問題作成のねらい、範囲・内容」の中には「高等学校で使用されている教科書を基礎とし、特定の事項や分野に偏りが生じないように留意する」とも書いてあり、一見すると、「高校で学習する内容を表面的に理解していれば良い」と思うかもしれません。

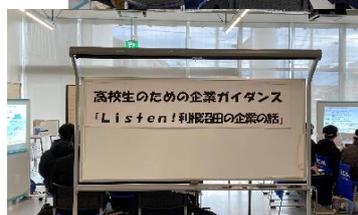
しかし一方で、基本的な考え方の中には「知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力等を発揮して解くことが求められる」や、各教科・科目の方針の中に「多面的・多角的な視点から解釈」、「多面的・多角的に考察」、「科学的に探究を進める過程についての理解」といった言葉などが書かれており、自分が得た知識をどれだけ「活用」できるかということまで共通テストでは求められています。また場合によっては教科書にない資料なども出題されてしまいます。

つまり、いくら共通テストが「基礎的」な力を求めているとはいえ、決して上辺の勉強だけで乗り越えられる物ではないことを肝に銘じた上で、日々の授業を大切にする必要があります。

ちなみに「基礎的」とは「必ず押さえておく必要がある内容」のことだよ。決して「簡単な内容」で

● 1月に行われた進路行事

1月11日(水) 5・6限



1月14日(土) テラス沼田
2学年 利根沼企業ガイダンス

1月18日(水) 5・6限

2学年 模擬授業形式進路説明会

